

## 令和4年度 特許情報提供サービスの現状と今後に関する調査 「経営に資する特許情報に関するアンケート（エンドユーザー用）」

### ● 本調査の目的

近年、IP ランドスケープや知財の価値分析といった用語で象徴される特許情報<sup>1</sup>の経営への活用に関する取組が活発化しつつあります。本調査は、このような流れの中で、特許情報がどのように分析されどう経営に活用されているのか、その実態を把握して特許庁における特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）や外国特許情報サービス（FOPISER）、特許情報の一括ダウンロードサービス、特許情報取得 API の機能改善へつなげることを目的としています。

1：本調査において「特許情報」とは、特許・実用新案・意匠・商標の出願・権利化に伴って生み出される情報（公報情報や経過情報等）および、その他の知的財産権情報を含む情報を指す。

アンケート調査結果は、特許庁における今後の特許情報提供サービスに係る施策等の検討に活用させていただきますので、是非ともご協力をお願いいたします。

### ● アンケートの回答について

組織の視点での回答が必要な質問を含むため、知財関連部門を統括されている責任者もしくは管理職、上級専門職の方によるご回答をお願いいたします。

### ● アンケートの構成

- A. どのような経営課題をどんな方法で分析しているのか（4 問）
- B. 分析に使用している主な特許情報、指標について（3 問）
- C. 経営に資する特許情報の分析ツールについて（含む外部サービス利用）（13 問）
- D. 特許情報と非特許情報とを組み合わせた分析について（8 問）
- E. 知財部門の状況について（3 問）

### ● 所要時間の目安

この調査の回答に要する時間は、20 分程度です。

- なお、ここで記載いただいた個人情報について第三者に提供することはありません。

【記入者情報】最初に、以下の事項をご記入ください。

記入者連絡先	
ID 番号(4桁 半角でお書き下さい) ※封筒内資料(依頼状)に掲載の ID 番号を記載 ※必須	
会社名または団体名	
所属部署・役職 ※必須	
郵便番号	
都道府県	
市区町村	
町名番地	
ビル建物名	
氏名 ※必須	
E メールアドレス ※必須	
E メールアドレス(再入力) ※必須	

A. どのような経営課題をどんな方法で分析しているか

A1 最初に、貴社の経営課題に対する特許情報の分析、活用状況をお聞きします。  
貴社では経営課題の検討を目的として、特許情報の分析、活用をされていますか。

1. Yes (経営課題に対して特許情報の分析、活用を実施している)
2. No (経営課題に対して特許情報の分析、活用は実施していない)

**2. No を選択された方は、ここで終了です。ありがとうございました。**

A2 上記 A1 の回答で 1. Yes を選択された方にお聞きします。

特許情報の分析に基づいて検討されている経営課題は、どのようなものでしょうか。  
直近 3 年程度の実績をベースに、重要度や優先度の高い課題を 3 点以内でお答えください。

1. 新規事業分野の探索
2. 既存事業の市場優位性向上 (含む新製品・サービスの検討)
3. 新規研究開発テーマの検討
4. M&A 候補の探索
5. 協業先や共同研究先の探索
6. 顧客候補の探索
7. 資金調達
8. 特許・意匠・商標等の権利売買やライセンス
9. 特定テーマというよりも全般的な経営・事業戦略策定や計画検討
10. 有価証券報告書等の IR 関連資料作成
11. その他 (空欄に記入)

A3 それらの経営課題検討のために経営層に報告する特許情報の分析結果はどのようなものでしょうか。直近3年程度の実績をベースに、重要度や優先度の高い分析結果報告内容を5点以内でお答えください。

- 1. 特定分野の技術動向変化
- 2. 特定分野の競合動向変化
- 3. 特定分野の自社・他社の特徴や技術競争力比較
- 4. 自社新規技術の発展可能性
- 5. 自社既存技術・製品等の他分野への応用展開可能性
- 6. 自社・他社の技術シナジー発現可能性
- 7. 他社や自社の特許価値評価（主に技術的）
- 8. 他社や自社の特許価値評価（主に経済的）
- 9. 他社の発明者調査
- 10. その他（空欄に記入）

A4 問A3で選択した分析結果報告には、どのような分析方法が使われていますか。主要な分析方法を5点以内でお答えください。

- 1. 分野別、企業・団体別の特許ポートフォリオ比較
- 2. 出願（or 権利化）状況の俯瞰図（ex. キーワード類似度）比較
- 3. 分野別、企業・団体別の出願 or 登録件数の経時変化比較
- 4. 分野別、企業・団体別の発明者数（重複排除）の経時変化比較
- 5. 特許・意匠・商標等の価値評価（主に技術的）
- 6. 特許・意匠・商標等の価値評価（主に経済的）
- 7. テキストマイニング
- 8. 発明者のネットワークや動向分析
- 9. 分析作業を担当していないため（ex. 外部依頼）詳細不明
- 10. その他（空欄に記入）

## B. 分析に使用している主な特許情報、指標について

B1 経営に資する特許情報の分析で主に対象としている国内外の公報は何でしょうか。  
(複数選択可)

- 1. 特許
- 2. 実用新案
- 3. 意匠
- 4. 商標

B2 分析で主に用いている特許情報データはどのようなものでしょうか。  
最初に書誌情報、公報情報で主に用いているデータをお聞きます。(複数選択可)

- 1. 出願人
- 2. 現在の権利者
- 3. 出願日 (もしくは優先日)
- 4. 発明者 (もしくは創作者)
- 5. タイトル (もしくは物品名)
- 6. 要約、請求範囲
- 7. 明細書
- 8. 函面、実施例
- 9. 分類 (国際分類: IPC、ロカルノ分類、ニース分類、ウィーン分類等)
- 10. 分類 (FI、Fターム、日本意匠分類)
- 11. 分類 (CPC)
- 12. その他 (空欄に記入)

B3 問 B2 と同じく分析で用いている特許情報データに関する質問です。  
経過情報、審査情報で主に分析に用いているデータは何でしょうか。(複数選択可)

- 1. 海外出願の有無 (出願国、登録国)
- 2. 早期審査請求の有無
- 3. 国内出願のリーガルステータス
- 4. 国内出願に関連する海外出願のリーガルステータス
- 5. 引用件数 (審査官)
- 6. 引用件数 (他者引用)
- 7. 拒絶理由通知回数
- 8. 拒絶理由通知、拒絶査定の内容
- 9. 情報提供の有無
- 10. その他 (空欄に記入)

## C. 経営に資する特許情報の分析ツールについて（含む外部サービス利用）

C1 経営に資する特許情報の分析は、どのような検索データベースや分析ツール（もしくは外部サービス利用）、情報源を用いて実施されているのでしょうか。  
該当する回答選択肢にチェックを入れてください。（複数選択可）

- 1. 商用分析ツール（有償サービス）
- 2. 商用分析ツール（無償サービス）
- 3. 海外の特許庁等公的機関が提供するデータベースや分析ツール
- 4. 日本の特許庁が提供する公報情報検索ツール（J-PlatPat, FOPISER）
- 5. 日本の特許庁が提供する特許情報の一括ダウンロードサービス
- 6. 日本の特許庁が提供する特許情報取得 API
- 7. 自社開発した分析ツール
- 8. 自前で一般ソフト活用（エクセル、テキストマイニング、統計分析等）
- 9. 社内他部門に調査・分析依頼
- 10. 外部のコンサル・特許事務所等に調査・分析依頼
- 11. その他（空欄に記入）

C2 問 C1 で回答選択肢 1, 2, 3 のどれかにチェックを入れた方にお聞きします。  
何故、その分析ツールを採用されたのでしょうか。理由を教えてください。  
（最大 3 項目まで選択可）

- 1. 必要な分析機能を保有
- 2. ツールの使いやすさ
- 3. 情報セキュリティの信頼性が高い
- 4. 経済性（安価）
- 5. 分析ツールの評判
- 6. 分析ツール提供企業の評判
- 7. その他（空欄に記入）

C3 問 C1 で回答選択肢 1. 商用分析ツール（有償サービス）をチェックされた方への質問です。できれば  に使用されている商用分析ツール（有償）の具体名をご記入ください。（複数記述可）

ツール名：

C4 問 C1 で回答選択肢 2. 商用分析ツール（無償サービス）をチェックされた方への質問です。できれば  に使用されている商用分析ツール（無償）の具体名をご記入ください。（複数記述可）

ツール名：

C5 問 C1 で回答選択肢 3. 海外の特許庁等公的機関が提供するデータベースや分析ツールをチェックされた方への質問です。

できれば  空欄 に使用されている海外庁等のツールの具体名をご記入ください。(複数記述可)

ツール名：

C6 問 C1 で回答選択肢 4 (J-PlatPat, FOPISER 利用) にチェックを入れた方にお聞きします。

特許庁では、FOPISER の今後の運用について検討していますが、今後どのような形態が望ましいと考えられますか。

(補注：FOPISER は、特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」では照会できない新興国を中心とした外国の特許情報が閲覧できる無料の検索・照会サービスです。)

- 1. 現状 (FOPISER 単独) で良い
- 2. FOPISER と J-PlatPat の UI を統合して欲しい
- 3. FOPISER と J-PlatPat のデータベースおよび UI を統合して欲しい  
(日米欧中韓以外に途上国の文献を一気通貫で検索する必要があるケース等)
- 4. FOPISER を余り使用していないので分からない

C7 問 C1 で回答選択肢 1. 商用分析ツール (有償サービス) にチェックを入れた方にお聞きします。

商用分析ツール (有償サービス) 利用の年間費用は概略どの程度でしょうか。

- 1. 年間¥100 万未満
- 2. 年間¥100 万～¥500 万未満
- 3. 年間¥500 万～¥1,000 万未満
- 4. 年間¥1,000 万～¥3,000 万未満
- 5. 年間¥3,000 万以上
- 6. 非公開

C8 問 C1 で回答選択肢 10. 外部のコンサル・特許事務所等に調査・分析依頼にチェックを入れた方にお聞きします。

年間の外部分析依頼費用 (外部コンサル・特許事務所等) は、概略どの程度でしょうか。

- 1. 年間¥100 万未満
- 2. 年間¥100 万～¥500 万未満
- 3. 年間¥500 万～¥1,000 万未満
- 4. 年間¥1,000 万～¥3,000 万未満
- 5. 年間¥3,000 万以上
- 6. 非公開

C9 この後、特許情報や分析機能に関して、経営への活用という観点からの改善要望に関する質問が5問続きます。

最初に、特許庁が提供している特許情報に対して、経営への活用という観点からの改善要望はありますか。

- 1. 現状で概ね満足している
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

要望：

C10 海外特許庁が提供するサービスにはあるが、日本の特許庁のサービスには無く、経営への活用という観点から日本の特許庁でも提供して欲しい特許情報や分析機能等がありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

要望：

C11 特許情報の一括ダウンロードサービスを使用されている方にお聞きします（問 C1 で 回答選択肢 5 をチェックされた方）。特許情報の一括ダウンロードサービスに関して、改善や追加要望はありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

例：経営への活用に有用な特許情報（具体的な情報群を記載）のみがセットとなったバルクデータの提供

要望：

C12 特許情報取得 API を使用されている方にお聞きします（問 C1 で 回答選択肢 6 をチェックされた方）。特許情報取得 API に関して、改善や追加要望はありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

例：経営への活用に有用な特許情報（具体的な情報群を記載）のみがセットとなったデータの提供

要望：

C13 商用分析ツールを使用されている方にお聞きします（問 C1 で 回答選択肢 1, 2 をチェックされた方）。商用分析ツールの分析機能に関して、改善や追加要望はありますか。

- 1. 特にない
- 2. 改善・追加要望がある（空欄に記入）

要望：

## D. 特許情報と非特許情報とを組み合わせた分析について

D1 経営課題検討のために、近年注目されている IP ランドスケープでは通常、特許情報の分析とともに非特許情報<sup>2</sup>の調査・分析も組み合わせて実施されています。

貴社では、経営課題に対して特許情報とともに非特許情報も組み合わせた調査・分析を実施されていますか。

2:「非特許情報」：ここでは企業情報、市場情報、科学・技術動向、社会・経済動向等を意味する。

- 1. Yes (非特許情報の調査・分析を実施している)
- 2. No (非特許情報の調査・分析は実施していない)

**回答選択肢 2. No を選ばれた方は、質問 E へ移動して下さい。**

D2 問 D1 で回答選択肢 1. Yes をチェックされた方にお聞きします。

どのような非特許情報を特許情報と組合せて調査・分析されているのでしょうか、主に調査・分析されている非特許情報を  へご記入ください (複数記述可)。

D3 問 D1 で回答選択肢 1. Yes をチェックされた方にお聞きします。どのような方法で非特許情報を調査・分析されているのか、ご回答ください (複数選択可)。

- 1. 商用検索データベース・分析ツール (有償サービス)
- 2. Web ベースの検索ツール (無償サービス)
- 3. 自社開発のデータベース・分析ツール
- 4. 自前で一般ソフト活用 (エクセル、テキストマイニング、統計分析等)
- 5. 学術論文、専門紙誌、ビジネス紙誌、企業ホームページ等の情報を利用
- 6. 社内他部門の情報利用 (もしくは調査・分析依頼)
- 7. 外部のコンサル・調査会社等に調査・分析依頼
- 8. その他 (空欄に記入)

D4 問 D3 で回答選択肢 1. 商用検索データベース・分析ツール (有償サービス) をチェックされた方にお聞きします。できれば、使用されている商用ツールの具体名を教えてください。(複数記述可)

ツール名:

D5 問 D3 で回答選択肢 2. Web ベースの検索ツール (無償サービス) をチェックされた方にお聞きします。使用されているツールの具体名を教えてください。(複数記述可)

ツール名:



D6 問 D3 で回答選択肢 1（商用ツール）もしくは 7（外部分析依頼）をチェックされた方にお聞きします。年間の利用料（非特許情報の調査・分析）は概略どの程度でしょうか。

- 1. 年間¥100 万未満
- 2. 年間¥100 万～¥500 万未満
- 3. 年間¥500 万～¥1,000 万未満
- 4. 年間¥1,000 万～¥3,000 万未満
- 5. 年間¥3,000 万以上
- 6. 非公開

D7 特許情報と非特許情報を組み合わせた調査・分析を行う上で、特許庁から新たに提供を希望する特許情報はありますか。

- 1. 無い
- 2. 有る → 希望する特許情報を下記の  空欄  にご記入ください

要望：

D8 その他、特許情報と非特許情報を組み合わせた調査・分析を行う上で、特許庁に対する要望があれば、 空欄  にご記入ください。

例：特許情報と非特許情報とがまとまったデータベースの提供等。

要望：

## E. 知財部門の状況等について

E1 経営に資する特許情報および非特許情報の分析結果の報告（以下、IPL 報告と略記）は、知財部門が主導的に経営層や事業責任者に対して実施しているのでしょうか。それとも他部門が主管し、知財部門が支援する形で経営層や事業責任者に対して実施しているのでしょうか。

（他部門：企業の場合は、たとえば研究開発部門、経営企画・戦略部門、事業部門、市場開発部門等）

- 1. 知財部門が概ね主導して IPL 報告
- 2. 経営課題の内容に依存して、他部門が IPL 報告を主導する場合もある
- 3. 他部門が IPL 報告を主導する場合が多い

E2 貴社の知財部門の組織図上の位置づけを教えてください。

- 1. 社長直下（もしくは（副）学長・（副）所長直下）
- 2. 研究開発部門直下
- 3. 事業部門直下
- 4. 法務部門直下
- 5. 経営企画・戦略部門直下
- 6. 産学連携本部直下
- 7. その他（空欄に記入）

E3 現在、貴社では皆さんの特許情報（および非特許情報）の分析結果や IPL 報告は、経営層や事業責任者に十分、理解・共有されていますか。

- 1. よく理解・共有され、積極的に活用されている
- 2. 理解・共有され、一部は活用されている
- 3. それなりに理解・共有されているが、活用は不十分である
- 4. まだ理解・共有は不十分である

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。